

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月24日		記入者	連絡先	5234
部 名	生涯学習部	課 名	スポーツ課	課長名	安本 喜忠
事務事業名	学校プール開放				
予算上の事務事業名	学校プール開放経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				事業開始年度
施 策 名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
スポーツ振興法、相模原市学校プール開放実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	スポーツ振興計画～地域スポーツ活性化プラン～		市民自らがスポーツへ取り組むことを基本として、地域におけるスポーツ環境の整備、青少年期のスポーツ環境の整備などを基本目標に各種施策を推進する		
計画年次	16	年度～	25	年度	
4 事業形態の区分	施設運営 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
市立小学校のプール施設を夏休み期間に開放し、子ども達が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。			市民 (市内の小中学生及びその保護者)		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
市立小学校49校で実施 10日間開放 (前期開放8月1日 (月) から10日 (水) 後期開放8月17日 (水) から26日 (金)) 利用者数 27,369人 消耗品費 44,250円 事務作業等委託料 17,888,456円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市においても、プール開放については同様に行っている。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	17,700	18,779	17,933	19,633	19,633
一般財源	17,700	18,779	17,933	19,633	19,633
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,602	1,614	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	19,302	20,393	19,543	21,243	21,243
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	学校プール開放事業			対象名称と単位	開放校数 (校)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	19,302	20,393	19,543	21,243	21,243
対象数	52	49	49	52	52
単位あたり経費(円)	371,192	416,184	398,837	408,519	408,519
前年度比		1.12	0.96	1.02	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開放校数（校）	指標式と指標の説明	開放校数（校）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	52.0	49.0	49.0		
目標	52.0	49.0	49.0	52.0	52.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数	指標式と指標の説明	利用者数 目標：平成10年度から14年度の平均利用者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	30102.0	26165.0	27369.0		
目標	27736.2	27736.2	27736.2		
目標達成度（%）	108.5	94.3	98.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成18年度より、職員が対応していた水質検査を委託するなど、事務の効率化を進めている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
職員が行っている印刷物の印刷・配付等の簡易な事務について、非常勤職員による対応など、更なる効率化を図る。			簡易な事務を効率的に行うための非常勤職員を確保する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			